

開催日時

平成 29 年 6 月 4 日 (日)
12:30 ~ 17:00 (開場 11:30)

要申込
参加費無料
定員 200 名

会場

東京大学 弥生講堂 一条ホール (東京都文京区弥生 1-1-1)

開催趣旨

野生動物を適切に管理し、資源として持続的に活用するためには、機能する体制づくりと、現場対応可能な人材の育成が不可欠です。今回のシンポジウムでは、これまでのシンポジウムでの議論をふまえ、今後 10 年を見据えた目指すべき方向性を考えます。

プログラム

森林保全および紙削減の観点からシンポジウム当日は、印刷したプレゼン資料は配布いたしません。何卒ご理解ください。

開催挨拶

野生動物管理の現場における役割分担・協働の在り方を考える
(東京農工大学大学院 農学研究院 教授 梶 光一)

第一部 人材育成と役割分担 12:35 ~ 14:00

【コーディネーター】 岐阜大学 応用生物科学部 教授 鈴木 正嗣

【基調講演】

カワウを対象とするシャープシューティング (KSS) の成果
(株式会社イーグレット・オフィス 専務取締役 須藤 明子)

【事例報告】

米国における「ホワイトバッファロー」の活躍と人材育成トレーニング
(酪農学園大学 農食環境学群・環境共生学類 准教授 伊吾田 宏正)

第二部 被害対策と資源利用 14:15 ~ 15:30

【コーディネーター】 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 横山 真弓

【基調講演】

長野県における資源的活用推進策の課題
~10 年間の取り組みを経て顕在化したこと~
(信州大学 学術研究院 農学系 准教授 竹田 謙一)

【事例報告】

被害対策としての「基本」を押さえた捕獲と資源的活用
(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 山端 直人)

第三部 パネルディスカッション 15:45 ~ 16:50

【総括・まとめ】

被害対策に結びつける資源利用とは
(美郷町役場 産業振興課 課長補佐 安田 亮)

【パネルディスカッション】

コーディネーター：梶 光一 パネリスト：講演者

詳しくは
ウラ面

美味しく食べよう！ 夏シシ・春シカ・スネ・ネック！

~現場の課題に向き合う本気のジビエの会~

時間：18:00 ~ 19:30 会場：レンタルキッチンパティオ 新御茶ノ水店

別途申込
参加費
5,000 円

野生動物管理の体制と

資源的利用のあり方を考える

野生動物管理全国協議会主催 2017 公開シンポジウム

●申込方法：代表者の氏名・所属・連絡先・参加人数を (sympo@j-wma.com) に送信ください。折り返し受付番号をお伝えします。

●問い合わせ先：野生動物管理全国協議会 事務局 (株式会社一成 担当：大山・迫田)

Tel : 079-428-0682 Fax : 079-428-2427)

個人情報、申込者への返信、参加者名簿の作成、お問い合わせに対する回答や確認等、本シンポジウムを実施するために必要な場合に限って利用します。